



筋電義手バンクへの寄付により感謝状をいただきました

令和 7 年 10 月 28 日

令和 7 年 10 月 28 日（火）神奈川県庁において、かながわ筋電義手バンクへの寄付に伴い、神奈川県知事より感謝状をいただきました。



左から 伊藤副理事長、黒岩知事

筋電義手は、腕の筋肉が収縮する際に起きる微弱な電流に反応して自分の意思で動かせる義手で、1 台当たりおよそ 150 万円と高額です。

国に認定されれば公費負担により購入できますが、そのためには筋電義手を使いこなせないと認定が受けられません。

こうした状況に対応するため、神奈川県では寄付金を活用しながら訓練用の筋電義手を貸し出す、筋電義手バンクを令和4年に設立しました。

私たち遊技業界では、この取り組みに賛同して継続して支援を行っています。

当日は、神奈川県遊技場協同組合伊藤岳彦副理事長（神奈川県福祉事業協会理事）から黒岩知事に寄付金150万円の目録をお渡しするとともに、黒岩知事からは「小さなお子さんは成長に合わせて義手を替えなければならないが、筋電義手を使いこなせないと健康保険は適用できないので大変な負担になる。そのような中で引き続き筋電義手バンクにご支援いただいたことに心から感謝いたします。」というお言葉と感謝状をいただきました。



左から 佐藤専務理事、伊藤副理事長、黒岩知事

取材に対して伊藤副理事長は、「子どもたちの日常生活の中で、これはできる、これはできないといったことがなくなるよう、これからも支援していきたい。」とコメントしました。

筋電義手バンク設立より行ってきた寄付も、今回で4回目になりました。腕に障害を持つ方の少しでもお役に立てるよう、私たち遊技業界は、これからも社会貢献活動に取り組んでまいります。



神奈川県福祉事業協会は昭和 60 年 2 月、神奈川県遊技場協同組合をはじめ県内遊技業界により社会福祉に貢献する組織として設立されました。